

平成 29 年度 公益社団法人日本動物学会 第 4 回理事会 議事録

1. 開催された日時 平成 30 年 3 月 7 日 (水) 13:30 – 17:00
2. 開催された場所 東京国際フォーラム G棟 (ガラス棟) G407
一部の参加者はWeb会議 (Google Hangout) で実施
会議風景を参考資料1に示す。
3. 理事総数及び定足数
総数 20 名 定足数 11 名
4. 出席理事数 16 名
(現地出席) 岡 良隆、筒井和義、志賀向子、吉田 学、竹井祥郎、渡邊明彦、浮穴和
義、植木龍也、深津武馬、浅見崇比呂、阿形清和
(web 会議での出席) 西田宏記、松島俊也(途中まで小川宏人会員が代理出席)、小金沢雅之、
安東宏徳、豊田ふみよ
(欠席) 松田浩平、勝 義直、広瀬裕一、飯田 弘
(監事出席) 沼田英治、武田洋幸 (web での部分参加)

理事出席者 16 名、監事 2 名の出席を得て、理事会は成立となった。議長は、岡会長。
議事録署名人は、定款 35 条 2 項により、岡会長、武田監事、沼田監事。

5. 報告事項

会に先立ち、第 3 回議事録の確認があり、承認された。

・各理事報告

DropBox に上げられた各理事報告が確認された。(資料 1)

・Zoological Letters 編集委員会報告 (岡 会長)

理事会に先立って開催された、ZL 編集委員会についての報告があった。Zoological Letters にインパクトファクターがつくことが決まったが、2020 年からの APC 著者負担の開始を行うためにはさらにインパクトファクターを上げることが求められている。それに対する方策の一つとして、古生物学を取り込んだものにしていきたいと編集委員会では考

えている旨報告された。さらに、ZL へのさらなる積極的な投稿と、論文掲載者には掲載論文の積極的な引用に協力して欲しい旨、要請があった。

Zoological Science については、円高の影響、またアクセス数の減少により、2018 年度は減収が見込まれていること、差し迫った危機感があるわけではないが、BioOne でもさらにアクセス数を上げる努力をする必要があることが報告された。

- ・第 89 回大会札幌大会での本部企画シンポジウムについて（岡 会長）

動物学会の前身である東京大学生物学会の 1878 年設立から数え、2018 年は動物学会創設 140 年を迎えるにあたり、日本動物学会第 89 回大会札幌大会において節目としての本部企画を計画している。そこで溝口 歴史資料保存委員会委員長、八杉 元歴史資料保存委員会委員長、吉田 庶務理事、岡 会長、永井 事務局長、阿形 元 ZDW 担当理事、広瀬 ZDW 担当理事により本部企画シンポジウムの企画を行った。そして、札幌大会における会場構成とプログラムを考慮し、シンポジウムを 2 日目の午前とする。内容としては、まずこれまでの動物学会の歴史について溝口会員と長濱会員が説明を行い、続いて目玉の講演として ZS の associate editor を務めた Peter Holland 博士を招聘し、彼らから見た日本の動物学の歴史、今後、そしてサイエンスについて講演して頂く。さらに、ZooDiversity Web の広報や今後のプランなどの話を広瀬理事お願いし、最後に ZS, ZL, ZDW について会員からの意見を直接聞く機会を設ける予定であることが報告された。

また、シンポジウムの後には、豊田理事により、先日行った男女共同参画委に関する大規模アンケートの集計結果の報告を予定していることも併せて報告された。

参加者より、人を集めるためにも、シンポジウムのタイトルをキャッチーなものとするよう意見があり、検討することとなった。

- ・web サイトリニューアルについて（吉田 理事）

トップページの家が出来上がった事を受け、現状での作成状況と構成案が報告された。アーカイブをどこまで残すか、が議論され、構成の簡素化は図られるべきであるが、140 年という節目でもあるので可能であれば PDF 等にして歴史として残せるようにしたいということとなった。アーカイブの保存場所としても、ZDW や ZL 等も含めて検討することとなった。

- ・将来計画委委員会報告（渡邊 理事）

富山大会で実施したキャリアパスの意識調査の集計が終わり、現在、男女共同参画とそれぞれでチェックしている状況で、札幌大会に報告できるよう準備中であることが報告さ

れた。

6. 審議事項

第一号議案 理事選挙における選挙管理委員の選任について

3月より始まる理事選挙等の選挙管理委員会として、次回の理事選挙で被選挙権がない、竹井、筒井、浅見理事の3名が推挙され、竹井理事を委員長、筒井、浅見理事2名を委員として選挙管理委員会とすることが承認された。

第二号議案 学会賞等の募集について（資料2）

学会賞等について、これまでちゃんとした応募要領がなかったので、応募希望者より問い合わせが相次いでいることに鑑み、募集要項案が示された。議論における修正の上、最終的に資料2に示すような各賞の募集要項が承認され、直ちに本年の募集要項として使用することとなった。

応募数を増やす方策についても併せて議論され、理事には個人単位で積極的に候補者を推薦するよう期待するが、これを義務化、明文化することはしないこととなった。

第三号議案 第89回大会札幌大会での本部企画シンポジウム演者に対する川口基金からの支出について

札幌大会における動物学会本部企画シンポジウムで招聘されるP. Holland博士の旅費について、川口基金よりビジネスクラスで招聘したい旨の提案があり、承認された。

第四号議案 クレジットカード決済手数料の取扱いと会費値上げについて

前回の理事会で頭出しされた、クレジットカード決済手数料を学会が負担する必要があることについて、会費の支払手数料の負担が公平でない事を考慮し、現状会員負担としている郵便振込等の手数料も会費での負担とすることを条件に、一般会員、学生会員とも200円値上げする案が本部より示され、議論が行われた。多くの議論の結果、現状、クレジットカード決済の会員がそれほど多くないことから、今回は値上げを見送り、しばらくは利用状況と財政状況の様子を見ることとなった。

会費の支払手数料の負担が公平でない件については、当面はクレジットカード支払の会員には手数料を学会が負担していることを示し、その分の寄附を積極的にお願いすることが提案された。

・次回（2017年度第5回理事会）は2018年6月2日に北大東京オフィス会議室にて開催予定。

平成30年 月 日

上記の内容で相違ないことを証するため、ここに記名押印をする。

議 長 岡 良隆

議事録署名人 武田 洋幸

議事録署名人 沼田 英治

各理事活動報告（2018年1月～2月）

○ 会長活動報告（2018年1月-2月）（岡理事）

1. 日本発生学会第50回大会特別企画「日本発生生物学会の歩みと将来」に参加してパネルディスカッションを行った内容の出版に協力した。
2. 学会員に向けて、新年の挨拶をダイレクトメールで送ると共に、学会ホームページに掲載した。
3. 学会で出版している Zoological Letters (ZL) の倉谷編集長および事務局長と、ZL 出版に関する会議を事務局で開催した。3月開催の理事会において、ZL および、Zoological Science (ZS) の今後に関して議論するための両ジャーナルの編集会議を、理事会と同時開催することを決定した。
4. 平成29年度第4回理事会の3月7日開催（ZL、ZS 編集会議と同時開催）を理事に連絡。
5. 学会支部に、平成30-31年度（平成30年7月1日から平成32年6月）理事選挙の日程や方法について連絡。
6. 動物学会大会のシンポジウムの共同期各区代表者として非会員を含めても良いかどうかについて、本部役員と大会実行委員会で協議し、これを認めることとした。また、今後の学会大会においてもこれを今後の原則とすることとし、次回理事会で承認することとした。
7. 第4回理事会の議題について本部役員で議論した。

○ 副会長活動報告（2018年1月-2月）（筒井理事）

会長と各委員会の職務を補佐した。
理事選挙における選挙管理委員を務めた。

○ 庶務担当理事および IT 委員会活動報告（2018年1月-2月）（吉田理事）

会長、副会長、会計及び事務局長と連携を図りながら動物学会の運営の補佐を行った。

IT 委員会は、2018年3月5日に web 会議を行い、Web サイト更新並びに札幌大会における参加登録システムに関する検討を行った。

○ 会計担当理事活動報告（2018年1月-2月）（志賀理事）

12月8日 OM賞選考の進め方について、東京大学にて岡会長、真行寺オブザーバーとともに話し合いを行った。

- 12月下旬 OM賞選考委員会の選考スケジュールを決め、選考委員へ通知した
- 1月29日 第1回OM賞選考委員会の日程を5月12日と決め、選考委員へ通知した
- 1月30日 第1回OM賞選考委員会の会場予約（東京国際フォーラム ガラス棟506号室）を事務局へ依頼した。予約できた。
- 2月上旬 山田財団応募書類の審査を行った
- 2月 1月末までの収支計算書を確認した
- 2月20日 ZDW, HP改修費用（ダイナックス）を承認した。

○ 賞等担当理事報告（2018年1月-2月）（竹井理事）

1. 平成30年度山田科学振興財団への学会推薦者3名を、財団等推薦者選考委員会で選考した（2月16日）。本年度は21名の応募があった。
2. 昨年度に本学会が東レ科学振興会科学技術研究助成に推薦した谷口俊介会員が採択された（2月16日）。
3. 平成30年度川口賞の公募を行った（2月28日締切）。選考は学会賞等選考委員会委員で行われる。
4. 平成30年度日本動物学会賞、奨励賞、成茂動物科学振興賞、教育賞、女性研究者奨励OM賞の公募を行った（3月30日締切）。

○ 広報理事及び広報委員会活動報告（2018年1月-2月）（浮穴理事）

- 教員等公募情報、研究集会情報について、広報委員が月当番で学会ホームページへ情報をアップすることの指示・確認を行った。最終的に、学会ホームページのTOPICS&NEWS欄を更新した。
- 前月までの会員ダイレクトメールの内容をまとめ、メールマガジンとして編集・配布した（1月）。
- 会長年頭挨拶を学会ホームページに掲載した（1月）。
- Zool. Sci.誌の最新号表紙を更新した（2月）。

○ ZS編集主幹報告（2018年1月-2月）（深津理事）

1. Zoological Science の発行について

Zoological Science Volume 35 Issue 1 (Feb 2018): 1 Review, 10 Articles
を発行した。

2. 新規 Associate Editors の選任、任命について

従来、Zoological Science では14名のAssociate Editors が分担して投稿論文の査読者選定および審査決定に当たってきた。一方で Zoological Science のさらなる発展のため、Editors でカバーできる分野を可能な限り過不足なくすること、特定の Editors に過重な負担がかからないようにすること、なるべく若い有為な人材を登用すること等の観点か

ら、以下の4名の方々に新規 Associate Editors として参画いただくことを、本人に内諾をいただいた上で編集委員会において提案し、メール会議を行った結果、全会一致で承認された。

上川内あずさ 博士 (名古屋大学)

<https://researchmap.jp/kamikouchi/>

行動学や神経科学は動物学の重要な1分野であり、少なからぬ関連論文が **Zoological Science** に投稿されており、従来は水波誠委員を中心に対応してきたが、当該分野の強化及び若い世代の登用が必要と考えた。そのような観点から上川内博士を選任した。

二階堂雅人 博士 (東京工業大学)

<http://www.nikaido.bio.titech.ac.jp>

系統進化学は動物学の重要な1分野であり、きわめて多数の関連論文が **Zoological Science** に投稿されており、従来は脊椎動物を主として鈴木仁委員、無脊椎動物を主として東城幸治委員の担当で対応してきたが、過重負担になりがちであった。またかねてから、いわゆる進化発生学やゲノム進化などを射程に入れた系統進化学に専門性を有する Associate Editor の参画が望ましいと考えた。そのような観点から二階堂博士を選任した。

平沢達矢 博士 (理化学研究所)

<https://researchmap.jp/hirasawa/>

形態学は動物学の重要な1分野であり、相当数の関連論文が **Zoological Science** に投稿されており、従来から村上安則委員を中心に対応してきたが、さらなる強化が必要な分野であり、形態学に深い造詣を有する Associate Editor の参画が望ましいと考えた。そのような観点から平沢博士を選任した。

森山実 博士 (産業技術総合研究所)

<https://staff.aist.go.jp/t-fukatsu/Moriyama%20right.html>

生理学は動物学の重要な1分野であり、少なからぬ関連論文が **Zoological Science** に投稿されているが、適切な専門家を見いだすことがなかなか困難であり、皆で分担しながらなんとか対応してきたが、当該分野を担う能力と意欲を有する若い世代の Associate Editor の参画が必要と考えた。そのような観点から森山博士を選任した。

本件については、正式に本人に就任を依頼し、承諾を得たうえで、会長に報告し、承認を受けた。新編集委員については **Zoological Science Volume 35 Issue 2 (Apr 2018)** より記載し、編集業務に参画の予定である。

以上

○ 男女共同参画理事および委員会活動報告（2018年1月-2月）（豊田理事）

1) 1月 学協会連絡会から大規模アンケート動物学会会員分析用データベースの借用許可されたため、前回のアンケート結果を基にグラフ化を進め、一部終了。第8期第9期委員会のメンバーでできる限り分担して、6月をめどに解析を全て完成させる予定。

2) 1～2月

日本動物学会第88回富山大会における関連集会として第17回男女共同参画懇談会“ランチョン企画：ワーク・ライフ・バランスを考える～研究に集中できる環境づくりとは～”での懇談会報告書を作成中。出来上がり次第、すでに出来上がっているアンケート結果と共にHPに掲載をお願いする予定。

3) 1月～2月

将来計画委員会の渡辺明彦先生、キャリアパス小委員会委員長の石原顕紀先生、ならびにキャリアパス小委員会メンバーとキャリアパスに関する意識調査（アンケート）の実施・解析・公開について具体的な方法などについて意見交換継続中。

4) 2月

日本動物学会第89回札幌大会における関連集会として第18回男女共同参画懇談会ランチョン企画においてグループディスカッションを開催することを決定。近々に関連集会応募予定。

5) 2月

動物学会会員属性調査の具体案について委員会での意見のとりまとめを行った。

○ 国際交流担当理事及び委員会活動報告（2018年1月-2月）（安東理事）

1. 日本動物学会第89回札幌大会（9/13-15）において、第5回動物学国際交流セミナーを本大会の前に、松島理事（北大）が企画している日独サマースクールと連携して開催する方向で検討を進めた。1泊2日の合宿形式でセミナーを開催できる場所として、北海道大学国際交流会館および札幌市アイヌ文化交流センターを検討している。

○ 出版・図書担当理事及び委員会・富山大会長活動報告（2018年1月-2月）（松田理事）

出版・図書委員会では、Springer Series “Diversity and Commonality in Animals” および丸善出版「動物学百科事典」の出版事業が継続している。今期では、以下の活動を行った。

1. Springer のシリーズ出版「Diversity and Commonality in Animals」の第5巻「Endocrine Systems in Animals（仮題）」については、Editorsの方針も含め未着手の部分が多く、担当らとの協議を進めている。

○ 教育担当理事及び委員会活動報告（2018年1月-2月）（勝理事）

- ・ 2018年2月28日に各支部から届きました活動報告を取りまとめて、その内容を各支部の教育担当委員の先生方に送って情報を共有しました。
- ・ 2018年2月28日に各支部の教育担当委員に4月以降の各支部の活動予定の情報を取りまとめていただくように依頼をしました。

○ 将来計画担当理事および委員会報告(2018年1月-2月)（渡辺理事）

1. キャリア意識に関するアンケート調査に関して、キャリアパス小委員会で承認されたアンケート案を委員会に計り、委員会としての承認に向けて意見交換を行った。アンケートの前文に修正を加え、了承の運びとなった。
2. キャリア意識に関するアンケート調査の実施に向けて、学会 HP や支部会を利用した周知方法、9月の本大会における結果報告の実施案について、キャリアパス小委員会、および男女共同参画委員会と意見交換を行った。

○ 渉外・寄付担当理事および書記活動報告（2018年1月-2月）（小金澤理事）

- ・ 2017年12月21日開催の平成29年度第3回日本動物学会理事会（web会議）に出席した。理事会議事録の原資料作成のため会話録音を行った。
- ・ 第3回理事会にて録音／録画されたデータからテープ起こしを行い、「日本動物学会第3回理事会メモ」としてまとめた。
- ・ 「寄付委員会」を組織するため、各支部支部長に委員候補者の推薦を依頼し、候補者に委員就任を打診の後、委員を決定した。

○ ZDW 担当理事活動報告（2018年1月-2月）（広瀬理事）

- ・ 2月2日に委員会を開催した（東京）。ダイナックスの佐藤氏も本会議に参加した。
- ・ ZDW のサイト修正状況について現状と問題点を確認した。
- ・ Journal List の本棚の表示とデザインについて検討し、修正をダイナックスに依頼した。
- ・ 現システムでは ZL など ZDW 外のファイルへのリンクができないため、これを可能にするシステムへの改変が必要である。これについて、見積を依頼した。
- ・ 来年度の virtual issue として1件の企画を承認した。
- ・ ZDW の特に海外での広報を目的に、フライヤーを作成することを決めた（後日、フライヤーの原稿を電子会議で承認し、印刷へと進めている）。フライヤーは国際会議等で動物学会・ZL の広報の広報を行う際に、あわせて配布する予定である。
- ・ 2月22日に 札幌大会での本部企画シンポジウムについての会議に web で参加した。

シンポジウムにおいて ZDW の紹介を担当することとなった。

○ 北海道支部活動報告（2018 年 1 月-2 月）（松島理事）

今期、北海道支部は 1 回の支部講演会（第 577 回）を実施しました。また、第 89 回動物学会札幌大会に向けて、札幌コンベンションセンターと実施方の打合せを数回行いました。

1. 北海道支部講演会

(ア) 第 577 回支部講演会

- ① 平成 30 年 2 月 8 日 16 : 00~17 : 00
- ② 北海道大学理学部 5 号館 407 号室
- ③ 演者：佐竹 炎（公益財団法人サントリー生命科学財団）
- ④ 演題：ホヤが教える脊索動物の内分系・神経系の進化と多様性

○ 東北支部活動報告(2018 年 1 月-2 月)（渡辺理事）

1. 平成 30 年度支部会の開催について検討し、7 月 21（土）-22 日（日）に山形大学小
白川キャンパスで行うことを決定した。
2. 支部会の実施に向けて準備委員会を立ち上げた。
3. 平成 30-31 年度動物学会理事選挙に関して、事務局からの依頼を受けて選挙人名簿
の確認を行い、開票者として黒谷玲子会員を推薦した。

○ 関東支部活動報告(2018 年 1 月-2 月)（阿形理事）

今期、関東支部は支部大会へ向けた準備を行っている。旧来のワードファイルベースの参加申し込みを改め、登録フォームに切り替えることで、作業の効率化を測った。また、29 年度 12 月 26 日(前期)に行った支部会会議の結果、参加者から寄附金を広く集める方針となった。動物ペーパークラフトのプレゼント等の準備を進めている。その他、メールベースで主に支部大会開催に向けた議論を続けている。

関東支部大会および支部総会の開催

2017 年 3 月 21 日（水・祝）（予定）

会場：上智大学 四谷キャンパス

2 月 28 日現在で、一般発表 94 件、高校生発表 23 件の登録がされており、着々と準備中である。

また、来年度の支部大会の開催場所を、中央大学に打診し、快諾を得ており、この件も総会で報告する。

○ 中部支部活動報告（2018年1月-2月）（浅見理事）

1. 2018年度日本動物学会中部支部大会を下記の通りに開催することが実行委員会により決まった。

日程：2018年（平成30年）12月8日（土）～9日（日）

場所：名古屋大学理学南館 坂田・平田ホールとセミナー室

（<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/congre.html>）

この日程内で、演題発表、ポスター、シンポジウム、懇親会、表彰、支部役員会を開催予定。

実行委員会役割分担：

大会長、庶務：田中実、高大連携：大隅圭太、シンポジウム：澤田均、プログラム：小橋常彦、金森章、八木克将、橋本寿史、懇親会・会場：石川由希、会場・会計：西村俊哉

○ 近畿支部活動報告（2018年1月-2月）（西田理事）

近畿支部の春の支部会、及び研究発表会に関して準備を進めた。

2018年春の発表会は、佐藤会員（京都大学）の担当で、2018年5月12日に京都大学理学部2号館講義室で開催する予定である。

○ 中国四国支部活動報告（2018年1月-2月）（植木理事）

今期は、2018年度支部大会（山口）における若手発表賞の実施要領の検討、本支部70周年記念事業の企画立案、2019年度支部大会（広島）についての植物学会および生態学会との打合せ、中国四国支部での全国大会開催の候補地における打合せを行った。

また、昨年12月に実施された県例会に関する情報をとりまとめたので、以下に添える。

1. 愛媛県例会

日時：平成29年12月9日（土）13:00～15:00

場所：愛媛大学理学部本館 交流ゼミ室（511）

講演数：6件

参加者：約30名

2. 岡山県例会

日時：平成29年12月15日（金）16:00～17:00

場所：岡山大学理学部21講義室

演題数：1件

講師：佐藤耕正（東北大学・山元研・助教）

参加者：40名

3. 高知県例会（第 110 回土佐生物学会）

日時：平成 29 年 12 月 16 日（土）9：30～16：30

場所：高知大学理学部情報科学棟共通講義室 4

演題数：口頭発表 14 件、ポスター発表 15 件、特別講演 1 件

参加者：98 名

○ 九州支部活動報告（2018 年 1 月-2 月）（飯田理事）

学会賞等への推薦について、下記のように、九州支部からの積極的な応募を会員にお願いした。

動物学会では、現在学会賞等への推薦を受け付けております。今月末日が締切となっておりますが、いまだ大変推薦件数が少ない状況です。九州支部からの応募は昨今少ない状況が続いておりますので、会員の皆様が積極的に応募して頂きますようお願いいたします。

公益社団法人日本動物学会 学会賞

〇〇〇〇年度 応募要領

1. 学会賞の趣旨

公益社団法人日本動物学会は以下の賞の受賞候補者を広く募集しております。

学会賞は、毎年2名(グループ)程度の、学術上甚だ有益で動物学の進歩発展に重要かつ顕著な貢献をなす業績をあげた研究者(個人またはグループ)に授与されます。

2. 授賞対象者

本学会会員である者としてします。

3. 応募方法

- (1) 応募は候補者の推薦によって行われます。ただし、自薦・他薦は問いません。
- (2) 候補者の推薦には、学会賞・奨励賞受賞候補者推薦書(学会指定の様式、動物学会 web サイトよりダウンロード可能)および代表論文別刷(5編以内)の電子ファイルを、(3)の方法により学会賞等選考委員会へ提出して下さい。
 - ・推薦書様式: http://www.zoology.or.jp/news/index.asp?patten_cd=12&page_no=350
- (3) 書類の提出は、動物学会 web サイト上にある学会賞等応募システムより行います。下記の URL にアクセスして必要情報を記入し、(2)に示した応募書類すべてを PDF 化してアップロードして下さい。
 - ・学会賞等応募システム URL: <https://gakkaisho.zoology.or.jp/entry/default.aspx>

4. 応募書類の受付期間

〇〇〇〇年1月1日(○曜日)から3月31日(○曜日)午後○時までとします。

5. 選考結果の通知と賞の授与

- (1) 選考は、学会賞等選考委員会によって行い、委員会による受賞候補者の答申に基づいて、理事会の審議により決定します。受賞者の公表は6月半ばを予定しております。
- (2) 選考結果は推薦者と受賞者本人に通知します。
- (3) 受賞者には本学会 web サイトに掲載する受賞内容の要旨を作成して頂きます。
- (4) 受賞者には賞状及び副賞10万円が授与されます。
- (5) 受賞者表彰式は当該年度の年次大会(〇〇〇〇年度は第〇〇回〇〇大会(開催地: 〇〇〇〇)・開催期間: 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日~〇〇日)にて行います。また、受賞者には表彰式に引き続いて受賞者講演をして頂きますので、必ず年次大会に参加して下さい。予め出席が出来ないことが判っている場合は、受賞対象とはなりません。なお、年次大会参加に関する出張費用は自弁で願います。

6. 問合せ先:

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-2 本郷MTビル4階

公益社団法人日本動物学会 事務局

TEL: 03-3814-5461 FAX: 03-3814-6216 e-mail: zsj-society@zoology.or.jp

公益社団法人日本動物学会 奨励賞

〇〇〇〇年度 応募要領

1. 奨励賞の趣旨

公益社団法人日本動物学会は以下の賞の受賞候補者を広く募集しております。

奨励賞は、毎年 2 名程度の、活発な研究活動を行い将来の進歩発展が強く期待される若手研究者に授与されます。

2. 授賞対象者

本学会会員である者としてします。

3. 応募方法

- (1) 応募は候補者の推薦によって行われます。ただし、自薦・他薦は問いません。
- (2) 候補者の推薦には、学会賞・奨励賞受賞候補者推薦書（学会指定の様式、動物学会 web サイトよりダウンロード可能）および代表論文別刷（5 編以内）の電子ファイルを、(3) の方法により学会賞等選考委員会へ提出して下さい。
 - ・推薦書様式: http://www.zoology.or.jp/news/index.asp?patten_cd=12&page_no=350
- (3) 書類の提出は、動物学会 web サイト上にある学会賞等応募システムより行います。下記の URL にアクセスして必要情報を記入し、(2) に示した応募書類すべてを PDF 化してアップロードして下さい。
 - ・学会賞等応募システム URL: <https://gakkaisho.zoology.or.jp/entry/default.aspx>

4. 応募書類の受付期間

〇〇〇〇年 1 月 1 日（〇曜日）から 3 月 31 日（〇曜日）午後〇時までとします。

5. 選考結果の通知と賞の授与

- (1) 選考は、学会賞等選考委員会によって行い、委員会による受賞候補者の答申に基づいて、理事会の審議により決定します。受賞者の公表は 6 月半ばを予定しております。
- (2) 選考結果は推薦者と受賞者本人に通知します。
- (3) 受賞者には本学会 web サイトに掲載する受賞内容の要旨を作成して頂きます。
- (4) 受賞者には賞状及び副賞 5 万円が授与されます。
- (5) 受賞者表彰式は当該年度の年次大会（〇〇〇〇年度は第〇〇回〇〇大会（開催地：〇〇〇〇）・開催期間：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇日）にて行います。また、受賞者には年次大会においてポスター及び口頭による受賞内容の発表をして頂きますので、必ず年次大会に参加して下さい。予め出席が出来ないことが判っている場合は、受賞対象とはなりません。なお、年次大会参加に関する出張費用は自弁で願います。

6. 問合せ先：

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-2 本郷 MT ビル 4 階
公益社団法人日本動物学会 事務局

TEL: 03-3814-5461 FAX: 03-3814-6216 e-mail: zsj-society@zoology.or.jp

公益社団法人日本動物学会 動物学教育賞

〇〇〇〇年度 応募要領

1. 動物学教育賞の趣旨

公益社団法人日本動物学会は以下のような賞の受賞候補者を広く募集しております。

動物学教育賞は、活発な啓蒙活動等により動物学の社会への普及に著しく貢献した個人または団体の功績を表彰することを目的とした賞で、毎年1名（グループ）程度に授与します。

2. 授賞対象者

本学会会員および非会員とします。

3. 応募方法

- (1) 応募は本学会の会員による候補者の推薦によって行われます。自薦は不可です。
- (2) 候補者の推薦には、動物学教育賞受賞候補者推薦書（学会指定の様式、動物学会 web サイトよりダウンロード可能）を、(3) の方法により教育賞選考委員会へ提出して下さい。
・推薦書様式：http://www.zoology.or.jp/news/img/f_users/r_3423816img20110609172810.doc
- (3) 応募書類の提出は、動物学会 Web サイト上にある学会賞等応募システムより行います。下記の URL にアクセスして必要情報を記入し、(2) に示した応募書類を PDF 化してアップロードして下さい。
・学会賞等応募システム URL: <https://gakkaisho.zoology.or.jp/entry/default.aspx>

4. 応募書類の受付期間

〇〇〇〇年1月1日（〇曜日）から3月31日（〇曜日）午後〇時までとします。

5. 選考結果の通知と賞の授与

- (1) 選考は、動物学教育賞選考委員会によって行い、委員会による受賞候補者の答申に基づいて、理事会の審議により決定します。受賞者の公表は6月半ばを予定しております。
- (2) 選考結果は推薦者と受賞者本人に通知します。
- (3) 受賞者には賞状及び副賞5万円が授与されます。
- (4) 受賞者表彰式は当該年度の年次大会（〇〇〇〇年度は第〇〇回〇〇大会（開催地：〇〇〇〇）・開催期間：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇日）にて行いますので、年次大会への参加をお願いいたします。

6. 問合せ先：

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-2 本郷MTビル4階

公益社団法人日本動物学会 事務局

TEL: 03-3814-5461 FAX: 03-3814-6216 e-mail: zsj-society@zoology.or.jp

公益社団法人日本動物学会 成茂動物科学振興賞 〇〇〇〇年度 応募要領

1. 成茂動物科学振興賞の趣旨

成茂科学器械研究所様からは、本学会に対し、長年、学会大会時のシンポジウム開催支援、企業展示、Zoological Science への広告など数多くのご支援をいただいております。公益社団法人日本動物学会は、成茂科学器械研究所様の御支援の下、2010 年度に「成茂動物科学振興賞」を創設し、毎年受賞候補者を広く募集しております。

成茂動物科学振興賞は、毎年 1 名程度、動物学の全分野でユニークな研究を展開する研究者に授与されます。

2. 授賞対象者

本学会会員である者とします。但し、過去に成茂科学基金を受賞した者は対象外となります。

3. 応募方法

- (1) 応募は候補者の推薦によって行われます。ただし、自薦・他薦は問いません。
- (2) 候補者の推薦には、成茂動物科学振興賞推薦書（学会指定の様式、動物学会 web サイトよりダウンロード可能）および代表論文別刷（2 編）の電子ファイルを、(3) の方法により成茂動物科学振興賞選考委員会へ提出して下さい。

・推薦書様式: http://www.zoology.or.jp/news/img/f_users/r_3422638img20110606122442.doc

- (3) 書類の提出は、動物学会 web サイト上にある学会賞等応募システムより行います。下記の URL にアクセスして必要情報を記入し、(2) に示した応募書類すべてを PDF 化してアップロードして下さい。
・学会賞等応募システム URL: <https://gakkaisho.zoology.or.jp/entry/default.aspx>

4. 応募書類の受付期間

〇〇〇〇年 1 月 1 日（〇曜日）から 3 月 31 日（〇曜日）午後〇時 までとします。

5. 選考結果の通知と賞の授与

- (1) 選考は、成茂動物科学振興賞選考委員会によって行い、委員会による受賞候補者の答申に基づいて、理事会の審議により決定します。受賞者の公表は 6 月半ばを予定しております。
- (2) 選考結果は推薦者と受賞者本人に通知します。
- (3) 受賞者には本学会 web サイトに掲載する受賞内容の要旨を作成して頂きます。
- (4) 受賞者には賞状が授与されます。
- (5) 受賞者表彰式は当該年度の年次大会（〇〇〇〇年度は第〇〇回〇〇大会（開催地：〇〇〇〇）・開催期間：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇日）にて行いますので、必ず年次大会に参加して下さい。なお、年次大会参加に関する出張費用は自弁で願います。

6. 問合せ先：

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-2 本郷 MT ビル 4 階
公益社団法人日本動物学会 事務局

TEL: 03-3814-5461 FAX: 03-3814-6216 e-mail: zsj-society@zoology.or.jp